

# 会 議 録

令和元年 7 月 25 日作成

会議名	第 1 回木更津市民会館整備検討委員会		
開催日	令和元年 6 月 26 日（水）	場 所	駅前庁舎 8 階 防災室・会議室
時 間	午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分		
出席者	<p>委員：倉田直道委員、古橋祐委員、伊藤裕夫委員、松井憲太郎委員          宮崎恵子委員、石村比呂美委員、土居和幸委員、地曳文利委員          渡部史朗委員、岩埜伸二委員</p> <p>事務局：総務部 伊藤次長          総務課）曾田総務課長、安田副主幹、河名主任主事          管財課）勝畑参事兼課長、平本主幹、加藤主査          (株)シアターワークショップ          伊藤代表取締役、佐藤氏、古川氏、伊藤氏  <b>【木更津市中規模ホール整備基本計画策定業務受託者】</b></p>		
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員会の運営方法について</li> <li>2 事業経過報告</li> <li>3 基本計画段階における課題点について</li> <li>4 市民会館中ホールの現状について</li> </ol>		
公開・非公開の別	議題 1～4            公開		
傍聴者数	1 人		
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会議次第</li> <li>○木更津市民会館整備検討委員会委員名簿</li> <li>○附属機関設置条例（抜粋）</li> <li>○委員会の運営方法について</li> <li>○事業経過報告</li> <li>○基本計画段階における課題点について</li> <li>○市民会館中ホールの現状について</li> <li>○今年度スケジュール表</li> </ul>		
会議概要	別紙のとおり		

○事務局（司会）

本日はお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。

本日の会議は公開で行います。

会議の傍聴を希望される方がおりますので、ここで傍聴人の方に入ってください。

【傍聴人入場】

それではただいまより、第1回木更津市民会館整備検討委員会を開催いたします。

初めに、渡辺市長より皆様に委嘱状を交付させていただきます。

皆様方には自席にてお受け取りいただきたいと思いますので、お名前を申し上げましたら、おそれ入りますが、その場でご起立をお願いいたします。

【市長より委嘱状交付】

○事務局（司会）

続きまして渡辺市長よりごあいさつを申し上げます。

○渡辺市長

皆様こんにちは。

本日は大変お忙しい中、第1回木更津市民会館整備検討委員会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

また委員にご就任をいただいた皆様には快くお引き受けをいただきましたことを重ねて感謝申し上げます。

ご存知の通り、今回の対象施設となっております木更津市民会館は、昭和45年に大ホール及び集会棟、昭和55年に中ホール棟が設置され、芸術鑑賞から市民の活動発表の場として、長年多くの市民の皆様が親しまれてきたところでございます。

しかしながら、大ホール及び集会棟については、耐震性能の不足が判明したため、平成27年3月末をもって利用を停止し、現在は中ホール棟のみを利用している状況となっております。

市民の皆様には大変なご迷惑をかけているところでございますが、そこで市では、平成30年2月に策定しました木更津市公共施設再配置計画第1期実行プランに基づきまして、新たな市民会館として中規模ホールの建設について検討を進めることとし、昨年度については中規模ホール整備基本構想を策定したところでございます。

今後はこの基本構想に基づきまして、多くの市民に愛され、にぎわいを生み出す施設となる新たな市民会館の建設を推進して参りたいと考えております。

本日の会議では中規模ホール整備基本計画について諮問をさせていただきます。

この中規模ホール整備基本計画は基本構想を一步進め、中規模ホール建設にあたり、具体的な課題や条件等を整理し、施設規模などの条件提示、また諸手続きフローの確認や概算事業費の算定など、事業実施の青写真を示すものとなります。

委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見、ご提言を賜りますようお願いを申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

○事務局（司会）

それではまず、本委員会の趣旨に関しましてご説明させていただきます。

その後、委員長副委員長の選任に入りたいと思います。

○事務局

私の方から本委員会の趣旨についてご説明させていただきます。

お手元の配布資料の附属機関設置条例（抜粋）をご覧ください。

本委員会は地方自治法第138条の4第3項の規定によって設置されている審議会等の機関となっており、趣旨等詳細については、附属機関設置条例で定めております。

まず、第1条に市長の権限に関する事務を処理するため、必要な事項を定めることを目的とすると規定されています。

続いて第4条第1項に会長または委員長及び副会長または副委員長は、委員の互選によってこれを定める。第2項に会長は当該附属機関の事務を総理し、当該附属機関を代表する。

第3項に副会長は会長補佐し、会長に事故あるときは、または会長の欠けた時はその職務を代理す

るとなっております。

続いて第5条第1項に委員長は市長が任命または、委嘱する。

第2項に委員に欠員が生じた場合は、補欠委員の任期は前任の在任期間とするとなっております。

続いて第6条第1項に同機関の会議は必要に応じて会長が招集し、会長が会議の議長となる。

第2項に会議は委員の過半数以上が出席しなければ開くことができない。

第3項に会議の議事は出席委員の過半数をもって決し、可否同数の時は議長の決するところとなるとなっております。

なお、本日は10名の委員全員の出席をいただいておりますので、本委員会は成立しております。

続いて第7条にこの条例で定めるほか附属機関の議事及び運営に関して必要事項について会長が定めることとなっております。

次の裏ページを見ていただきたいのですが、その別表中に組織及び担任する事務を記載しております。

木更津市民会館整備検討委員会は、木更津市民会館を整備するため調査、審議することとなっております、任期は2年と記載されております。

なお、木更津市民会館整備検討委員会は公開でありますので、議事作成にあたりまして録音等させていただきますので、ご了承いただきたいと思っております。

○事務局（司会）

ただいまご説明させていただきましたとおり、附属機関設置条例第6条第1項に、委員長が会議の議長となると定められております。

現在、委員長が決まっておりますので、委員長が決まるまでの間、議事進行につきましては伊藤総務部次長に仮議長をお願いしたいと存じます。

【伊藤次長 議長席へ】

○伊藤次長

それでは、委員長が決まるまでの間、私が仮議長を務めさせていただきますと存じます。

よろしく願いいたします。

本委員会の委員長及び副委員長は附属機関設置条例第4条第1項の規定により、委員の互選により定めるとされております。

委員の皆様にお諮りいたしますが、委員会の委員長副委員長につきまして、いかがでございましょうか。

○土居委員

事務局に案がありましたら、それをお示ししていただければと思いますがいかがでしょうか。

○事務局（伊藤次長）

ただいま事務局に考えがあれば示していただきたいというご意見をいただきましたが、よろしいでしょうか。

【委員から「賛成」の声あり】

○伊藤次長

皆様より賛成との声をいただきましたので、事務局による委員長副委員長の選出のご提案をさせていただきますと存じます。

それでは事務局お願いいたします。

○事務局

それでは委員長・副委員長の選出についてご提案いたします。

委員長につきましては倉田直道委員をご提案いたします。

倉田委員におかれましては工学院大学の名誉教授であられ、都市デザイン、都市計画等を専門とされております。

また、副委員長につきましては古橋祐委員をご提案させていただきます。

古橋委員におかれましては昭和音楽大学の教授であられ、建築設計、劇場計画などを専門とされております。

以上、事務局の提案でございます。

○伊藤次長

ただ今事務局から委員長に倉田直道委員、副委員長に古橋祐委員との提案がございましたが、委員の皆様いかがでございましょうか。

【委員から「異議なし」の声あり】

○伊藤次長

皆様より異議なしとの声をいただきましたので、委員長は倉田直道委員に、副委員長は古橋祐委員にお願いしたいと存じます。

それでは以後の議事進行につきましては、倉田委員長にお願いし、仮議長の任を終了させていただきます。

ご協力ありがとうございました。

【伊藤次長 自席へ移動】

○事務局（司会）

では、倉田委員長、議長席へお願いします。

【倉田委員長 議長席へ移動】

それでは、ここで渡辺市長より倉田委員長に諮問を行います。

○渡辺市長

中規模ホール整備基本方針について 諮問。

木更津市附属機関設置条例（昭和34年木更津市条例第28号）第3条の規定に基づき、中規模ホール整備に関することについて、理由書、中規模ホール整備基本計画の策定についての資料を添えて諮問します。

なお答申につきましては、令和2年3月までに取りまとめていただきますようお願い申し上げます。

【渡辺市長 諮問書を委員長に手交】

【諮問書（写）を委員全員に配布】

○事務局（司会）

諮問内容につきまして補足説明をさせていただきます。

事務局お願いいたします。

○事務局

では、補足説明をさせていただきます。

2枚目の、諮問理由をご確認いただきたいと思えます。

平成31年3月に策定いたしました中規模ホール整備基本構想では、現状の問題点や市民ニーズに総合的かつ効果的に対応し、木更津文化を継承、創造、進行するために中規模ホールの建設が必要としております。

その実現に向けて中期ホール整備基本構想で掲げた基本理念、必要な機能や規模などについて具体化し、中規模ホールの指針となるような基本計画を想定に作成していくことが必要と考えております。

つきましては中規模ホール基本構想に基づき中規模ホール建設にあたっての課題や条件整備し、施設の計画、事業手法などを確認し、基本計画の基本設計の指針となる中規模ホールの整備基本計画を貴委員会にご提案いただくよう諮問するものでございます。

3枚目に中規模ホール整備の基本計画の策定ということで四つほど項目を挙げさせていただきます。

1点目といたしましては、導入機能について。

2点目として施設の計画について。3点目として管理運営について。4点目として事業スケジュールについて。以上4点の大きな項目について審議をいただくようお願いいたします。

○事務局（司会）

それではこの後、議事に移りますが、市長は他の公務により、ここで退席いたします。

【市長退席】

では、倉田委員長お願いいたします。

○倉田委員長

本委員会の議長を務めさせていただきます倉田でございます。

委員の皆様にはご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、発言されますときは挙手をお願いいたします。

また本日の委員会は16時までには閉会できるよう進めたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

本日の議題は4件となっております。

事務局の説明に対して質疑を行うという形で進めたいと思っております。

それではまず議題1.「委員会の運営方法について」事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局

私の方より委員会の運営方法についてご説明申し上げます。

お手元の資料をご覧ください。

まず、会議の進め方についてですが、進捗状況により多少の変更もございますが、表の左側にお示ししたように委員会各回で検討内容を設定させていただいております。

右の表にお示しした、事前に別途開催いたします「中規模ホール建設に伴うワークショップ」で委員会検討内容に沿った市民の意見等の取りまとめを行います。

委員会では、その取りまとめ結果を報告した上で、委員の皆様方の立場からの意見を抽出させていただくために検討を行いながら、委員会としての意見等を集約していく形で進めて参ります。

なお集約した意見等の内容につきましては、次回の会議で皆様にご確認をいただきます。

第5回の委員会までに基本計画素案を策定し、パブリックコメントを経て、最終的に基本計画案の答申をいただきたいと思っております。

また会議開催の間にはメール文書等により皆様との意見交換を行うことも予定しておりますので、ご承知おきいただけますようお願いいたします。

委員会のルールにつきましては、右下の方に記載させていただいておりますので、特に読み上げませんが、ご了解いただければと思います。

私からは以上でございます。

○倉田委員長

それではただいま説明がありました委員会の運営方法につきまして、いかがでしょうか。

ご意見ご質問ございましたらよろしくお願いいたします。

【質問等なし】

○倉田委員長

議題1.「委員会の運営方法について」は特に意見等はないようですので、続いて、議題2. 事業経過報告について事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局

はい。議題2.「事業経過報告について」のご説明ですが、議題3.「基本計画段階における課題点について」及び議題4.「市民会館中ホールの現状について」につきましても、関連がございますので併せてご説明申し上げます。

そのあと一括でご質疑をお願いいたします。

内容につきましては、株式会社シアターワークショップよりご説明いたします。

○株式会社シアターワークショップ

【資料「事業経過報告」、「基本計画段階における課題点について」、「市民会館中ホールの現状について」を説明】

○倉田委員長

ご説明ありがとうございます。

伺ったところ、検討課題が多岐にわたっているようで、皆さんに多くのご意見をいただかないとまとまらないのではと感じました。

それでは、ただいまご説明いただきました事業経過報告、それから基本計画段階における課題点について、及び市民会館中ホールの現状について、ご質問ございましたらよろしくお願いいたします。

○古橋委員

前提条件のところをお聞きしたいのですが、先ほど、今使っていないという大ホールは、音楽を中心とした舞台芸術として、中ホールは集会として使われていると書かれており、大ホール機能について

は、今後、地域で新たに考えていくとの公共施設再配置計画第1期実行プランがあるようですが、具体的に大ホール機能の今後の展望はあるのですか。

○事務局

ただ今、ご質問いただいた件ですが、大規模ホールにつきましては、基本構想の背景のところでも若干触れさせていただいておりますが、近隣の自治体と共に一つのを建てることを検討すると公共施設再配置計画で定めております。

しかしながら、具体的にどういう規模の施設を建てるかという話までには、まだ至っていない状況でございます。

その理由といたしましては、例えば君津市には今、大きなホールがございますし、その他の市でも、市民ホール、文化ホールのものを有しております。それらの耐用年数も関係して参りますので、今のところ具体的な検討というのは、細かいところまで行っていない状況でございます。前提条件として、大ホールに替わる大規模ホールを広域的に建設していきたいという計画でございます。

○古橋委員

現存の中ホールについては、先ほどご説明いただいた内容では、継続使用するかしないかということとは未定で、これからの検討事項であると理解してよろしいでしょうか。

それから、設備関係を大ホールの方から移設するという話は、電気設備を共用していることからきていると思うのですが、移設等は技術的には可能だと理解してよろしいでしょうか。

○事務局

中ホールについては、公共施設再配置計画の中では、耐用年数が来るまでは活用していきたいという基本的な考え方がございます。

中ホールは、昭和55年の開館で、間もなく40年が経過しようとするところですが、先ほどのシアターワークショップからのご説明の中で、ずっと使い続けて行くには設備の面でもかなり課題等がございます。

また、ご質問いただいた電気設備のことにつきましても、移設となるとかなりの金額がかかるという状況でございますので、移設してずっと使い続けるのかというようなことにつきましてもあわせて基本計画を策定する中で、皆様方からご意見をいただきたいと考えております。

○古橋委員

先ほど現在の敷地は、興行上の劇場は立たない用途地域ということをご説明いただきましたが、もしこれを建て替えるとなった時には、市として用途地域を見直すということも考えていることでしょうか。

○事務局

基本構想を策定する段階では、用途地域を変えるということは考えていない状況です。

○伊藤委員

現在の中ホールに関しては、説明を伺ったところだと残す意味はほとんどないと思います。

しかしながら、当施設の再配置計画の中で、使えるものは耐用年数まで使うとありますので、それが中ホールを残す唯一の理由であると思われま。

いずれにしても、あと数年で寿命となり、使い続けていくのには多額の費用がかかってくることを考えると、残していく理由がわかりません。

○事務局

中ホールの利用については、芸術面というよりは、現在のところ集会系の利用が多くなっております。

大ホールが使えず、市民の方々に非常にご不便をおかけしている状況ではありますが、中ホールは学校関係の音楽の発表会などで一定の利用をいただいております。

そういったことから、市民の方々に芸術文化の場として活用していただく場所がない状況にならないようにと考えております。

○伊藤委員

その状況についてはよくわかります。実際に中ホールを残さない場合においても、中規模ホールの建設中は使う形になっていますので、これは当然だと思います。

一挙に壊すことはあり得ないと思います。

建設計画を見ても、中規模ホールができるまで数年はかかりますので、その間は中ホールをメインに使っていくことは事実だと思います。

その前提の上で、新規の施設ができた時にも中ホールを残すケースを想定されているのはなぜでしょうか。

○事務局

繰り返しになり申し訳ありませんが、公共施設再配置計画の中では、耐用年数を迎えるまでは使うという計画がございます。

しかしながら、委員がおっしゃいますように、使い続けるには、大ホールを壊した後に、結構な費用をかけて、電気設備を移設や大規模改修工事が必要になってまいります。

そのあたりのことも踏まえて、皆様方からご意見をいただき、この基本計画の中で方向性を出していきたいと考えているところでございます。

○宮崎委員

中ホールを使えなくなると困ります。

私は、市役所を壊して更地になっている場所が使えるのではないかと思います。

そこに市役所、文化ホール、劇場等の複合施設を作り、人が来るような場所にできたらいいのではないかと思います。

今の市民会館の大ホールを壊さなければ、中ホール分の電気設備を移設しなくていいので、新たな施設ができ上がるまで、そのまま使っていけばいいのではと考えます。

○事務局

ご意見ありがとうございます。

先ほどシアターワークショップから、中ホールをどのようにするかという、いくつかのパターンをご説明させていただきましたが、宮崎委員がおっしゃることも、その中の一つかと思っておりますので、今後そのようなご意見を踏まえて、方向性を出していただければと考えております。

○伊藤委員

基本構想では木更津文化ということがコンセプトに入っておりますが、市の文化振興に関する計画やビジョンがあるのでしょうか。

木更津文化というのは、どこでも使える言葉であり、実態がない言葉だと思います。

木更津文化というものがどういうものであるか、現在どういうふうに認識されているか、また若い人たちがどのような木更津文化を作ろうとしているのか、こういったビジョンがないと、新しい施設の意味というものがはっきりしないと思います。

私は文化施設の役割というのは数十年の間に非常に大きく変化していると考えています。

現在の中規模ホールの施設に関しては、いわゆる市民文化の中心になってくると思います。

したがって、今、市がめざそうとしている木更津文化というものがどういうものかについて検討した資料などがあれば、ぜひお示しいただきたいと思います。

○事務局

市の基本計画の中でも文化芸術について記述した部分がございますので、そのあたりの資料を次回ご用意させていただきたいと思います。

○岩埜委員

文化芸術についてですが、教育振興基本計画の中に、求める方向性を記載している箇所があります。

○倉田委員長

おそらく、今までのお話は、今度の施設を性格づけることにもつながるかと思っておりますので、資料の提供をお願いします。

○伊藤委員

関連しまして、町全体、或いは地域全体での動きのようなものも知りたいです。

このような施設を考えるにあたっては、今現在の市民の独自の活動というのはどういう状況にあるのかを知る必要があると思います。

民間施設を使うなどの動きも増えてきています。

必ずしも文化施設中心型ではなくなってきているということが、最近の文化の大きな特徴じゃないかと思っていますので、そういうことも含めて、木更津市が考えている、これから先の木更津市の

文化について、もう少し具体的な動きなどを知りたいと思います。

#### ○古橋委員

この基本構想を読んだ感想ですが、中規模ホールという言葉が先行して、もうすでに中規模ホールを作るというところから始まっています。

中規模ホールは舞台芸術に使うという話ですが、舞台芸術といっても幅が広く、パフォーマーがいて観客がいれば舞台技術であるという話になると、実際にこの中規模ホールというものに対して、市民の方々がどういうものを求めているのかははっきりしないのではないかと思います。

中規模ホールが木更津に対してどういうニーズ或いは目的のために作られるのかが重要だと思います。

実際、この規模の中規模ホールと言われれば、それなりの絵は書けます。ただそれは実際に使われる方の目的にあったものではなくて、あくまで中規模なホールの一般的なプロトタイプとしての絵となります。これからワークショップを開催するという事もお聞きしましたので、市民の方々の意見を取り入れながら、木更津で必要な中規模ホールは何であるかというのを明確にしていきたいと思います。

中規模とか、何席とか、何平米とか、それで全てを決めていくのは非常に危険なことであり、議論が空回りすることにもなりますので、目標とするべき理想像をみんなで共有していかないと議論が深まっていかないのではと思います。

#### ○石村委員

ちょっと話が戻ってしまいますが、さきほど宮崎委員がおっしゃられた複合ということについてですが、例えばホールと市役所などのいろいろな施設が複合的に入ることは大賛成なのですが、前の市役所の位置などは防災という観点ではどうなのかなと思います。

現在、災害時にある程度の拠点になる消防本部をすぐそばに建設中ですが、船だまりがそばにあり、東日本大震災のようなことが起こらないまでも、いろいろな災害を想定した時には、もっと町中の活用や山沿いの活用などを考えてもいいのかと一市民としては思います。

最近建設された金田の交流センターのホールも 300 人程度の規模があり、広く活用されるような拠点となっておりますので、そういうことも踏まえて建設を考えたらいいのではと思います。

#### ○岩埜委員

教育部ですが、現状での文化芸術の関係は中ホールで県警、自衛隊などの多くの市民向けのコンサートが行われております。

最大で 500 名の規模ですが、400 名程度入っていただいております。

ホールとして 500 から 700 程度の規模があれば、コンサートなどは十分できると考えます。

また、教育部としては、メインのイベントとして成人式があります。

現在は 700 程度の集客数があるアカデミアホールで、千人超の成人を対象に午前午後の 2 回に分けて実施しております。

その継続として、中規模ホールで同様にできればと思っております。

#### ○宮崎委員

私はバレエ教室をやっているのですが、発表会を行うには今の中ホールは使えません。

そこで、君津の市民文化ホールを使っているのですが、予約を取るのが大変です。

そういうことから、やはり木更津にホールが欲しいと思います。

700 名程度の中規模ホールがあれば、どこのスタジオでも発表会ができると思います。

舞台だけは広いものを作って欲しいと思います。

#### ○松井委員

説明いただいた資料の 8 ページにその導入機能の検討とありますが、説明の手順でこうならざるを得ないというところもあると思いますが、ホール部門、創造活動部門、管理運営部門、交流部門、リハーサル室などと個々の機能が羅列されています。

この施設がまちの中でどういうふうな役割を受け持とうとしているのか、まちの人がこれを見たときに、自分が行ってみたいと思うのかを考えると、全体の機能がちょっとわかりづらいと思います。

まちづくりの中で、この施設がどのようなインパクトを持つか、どのような拠点という位置付けをしようとしているかなどがもう少し見えた方がいいと思います。



それから、前のページに基本理念があります。

市のホームページなどにも目を通したところ、こういう考え方はすごく立派で、文書としてもすごくよくできていると思います。

しかし、ちょっとわかりにくい、抽象的な感じがします。木更津文化をこれから作っていくという部分も大きいと思うのですが、現にイメージされているベーシックなものがあるのではないかと思います。

劇場や事業をやっている専門側からすると、もう少し具体的にイメージできるようなものが欲しいです。

基本理念の上下段で書いてあるものが、どういうところから出てきたものかがちょっとわからなく、その辺の経緯というのを伺いたいです。

先ほどのご説明の中でオーガニックなまちづくりというような話があり、その中に自立・循環・共生という柱があって、それに基づいて作られているというようなことでした。

実は、事前にオーガニックなまちづくりの条例を見ました。

正式名称は、木更津市人と自然が調和した持続可能なまちづくりの推進に関する条例ということですが、文書としてすごくよくできていると思いました。

これは、現に僕らがやっているような演劇とかいうレベルだけではなくて、長い歴史の中で培われてきた文化と、現在の状況、自然などを生かしながら、市民が主体的にまちづくりをしていくというような、とても優れた考え方だと思います。

僕のイメージでは、こういうすばらしい条例があるのであれば、このような精神を生かした施設にしていってということを計画されているのかなと思いました。

先ほど三つの柱のようなものがあるという説明を伺いましたが、これが出てきた理由などをお教えいただけたらと思います。

#### ○事務局

まず、基本理念を決めていく過程でございしますが、昨年度、市の職員で構成する検討委員会というものを立ち上げました。

それと並行して市民の皆様方に参加していただいたワークショップを開催し、基本理念や導入機能などを決めました。

先ほど委員からご質問がありました、オーガニックなまちづくりでの三つの自立・循環・共生という考え方を基本理念に取り入れた理由でございしますが、市の大きな方針である基本計画、基本構想があり、その中でオーガニックなまちづくりという視点で、市民一人一人が有機的に繋がり自立した持続可能なまちづくりにつなげていくという方向性があります。

したがって、この考え方の一つを中規模ホールの整備について取り入れさせていただいたところでございます。

#### ○松井委員

私としては、7ページの基本理念と10ページの導入すべき機能の間に少し乖離があるように思われます。

基本理念が機能によってどう実現してくるかというプロセスのようなものがまだ実感できません。

今、文化施設や劇場を作る時には、まちづくりという考え方をベースにしていく必要があると思います。基本理念のイメージに具体的な機能を書き込んでいきたいと思っておりますが、現状ではまだどうすればいいのかわかりません。

#### ○倉田委員長

実は自立・循環・共生というのは、今、まちづくりの中でも、かなり意識されているキーワードとなっています。

持続可能なまちづくりという中でこういう言葉がよく出てきます。

持続可能というような言い方をした時には、どうしても環境だけに焦点が当たりますが、その対象となるものは、環境もそうですが、社会、それから社会のありよう、それから経済もあります。

それらを有機的に、まさにそれらを束ねたようなという概念があります。

例えば、町で表現しますと、これまで、町というのは、どちらかという機械に例えておりました。

機械を組み合わせるように機能を組み合わせる行く、それを我々は、機械的なアナロジーとして語

っていました。しかし、最近は、町を生物学的な考え方でとらえており、それはまさに有機的なとらえ方ということでもあります。

そういう意味で、このようなオーガニックの理念が出てきているというのは非常に素晴らしいことだと私も思っています。細かい機能は別として、この理念が新しい施設の中に現れることが非常に大事なのではないかと考えています。

専門の皆さんの前で言うのはちょっとはばかれるのですが、これまで文化というと文化芸術という鑑賞の対象にしかなかったものが、現在では自ら参加し、色々なことを実現していくものになっているので、そこから施設のあり方もいろいろ考えられるのではと思っています。

おそらく、基本構想を策定する過程では、木更津市における色々な文化活動をかなり調査し、それがどういう場所で、どういう人たちによって行われているかということも結構把握されているのだろうと思います。

文化というものは、すべて今検討している新しい施設で行われる訳ではなく、町の様々な場所で現在も行われていることかもしれません。

新しい施設がどのような活動の拠点なのか、そこはどのような場所になるのかということも整理していくと、この施設の姿が見えてくるのではないかと考えています。

#### ○渡部委員

まちづくりの関係ですが、基本構想の4ページに市の都市計画マスタープランが記載されています。そこでは、JR木更津駅周辺地区、内港地区、築地地区を文化・芸術などで多くの人が集い・賑わう都市再生拠点に位置付けております。

市は現在、中心市街地活性化計画や立地適正化計画など様々な計画を進めております。

その中の拠点の一つとして、この中規模ホールも位置付けたいと考えております。

よって、この検討委員会だけではなく、今進めております別の計画も含めて、人々が集まる拠点となる施設に位置付けていただけたらと考えております。

#### ○土居委員

本日は、第1回の委員会ということで、事業の経過報告から入ったため、分かりづらかったと思います。

次回の会議では施設機能の検討などに入るようなスケジュールになっていますが、基本構想の説明をきちんとしていただいた上で、議論を進めていく必要があると思います。

昨年の中規模ホールに機能等について十分検討していただいているようですが、よりよい基本計画を作っていくために、もっとしっかり検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

#### ○倉田委員長

本日は、これまでの経緯の説明があり、委員の皆さんにこれから検討していく必要がある課題をとにかく出していただくという形で行って来ました。

今日はその一つ一つを議論するという機会ではありませんので、皆さんが今日のご説明を伺って気になる点、また、これからもう少し議論しなくてはならない点があれば、さらに出していただきたいと思っております。

#### ○伊藤委員

都市計画の話も出て参りましたが、木更津市は今、人口13万人ぐらいでしょうか。

ネット等で調べたところ、金田などでURの計画も着々と進んでおり、住民構造が大分変化してきているのではないかと考えています。

これから先、5年10年の人々の生活パターンがどのように変わっていくのか。

そして、市民の生活導線。年代によっても違うと思いますが、人々の行動パターンなど。

そういったことが、木更津についてほとんど知らない私には見えてきません。

中規模の施設が生きていくためには、やはり、人々の生活パターンなどと重なっていないと難しいと思います。

また周辺地域、商業施設などとの兼ね合いのようなものも重要になってくるのではないかと考えています。

そういうことから、5年10年後に予想される町の変化、市民の意識の変化についての資料があれば、次回までをお願いしたいと思います。

○地曳委員

市民部として、資料9ページの導入機能の検討で、施設の複合化というところに記載されている市民活動支援センターの管理運営を行っております。

現在の市民活動支援団体は登録制で、100を超える団体が市内で登録をされており、環境、福祉、建築などにおいて、様々な市民が自ら課題を見つけて取り組んでおります。

そういった活動団体の居場所として、現在は駅前の民間ビルを借用しているのですが、その借用期間にも期限がございますので、今回、劇場という単なるホールではなく、市民が寄り添って活動を展開できる居場所として、交流スペースのようなものがあると非常にありがたいと感じているところです。

○倉田委員長

先ほど伊藤委員からのお話にもあったように、市民活動の実態などもこれからのライフスタイルに関係してくると思いますので、是非そのような資料を出していただけると、木更津市の理解が深まるのではと思っています。

それから、我々が都市計画を行っている時に必ず出てくるのが、通勤通学の状況ですので、そういったことも少しわかると思います。

東京との関係がどうなっているのかということもわかると、色々と議論しやすくなります。

例えば、大きなホールで行われるような催し物があった時に、木更津の人が東京までわざわざ行っているのか、またどういう距離感なのかわかりません。

仕事で東京まで行っているような人がいれば、出かけて行く機会もありますし、出かける場所が千葉なのかもしれませんし、何かそのような周辺との関係がわかると、人々の生活の行動パターンみたいなものが少し見えてくるかなと思います。

○土居委員

3~4年前の国勢調査の統計データに、就業の状況や通勤状況などがわかる資料はあると思いますので、ご用意してください。

○倉田委員長

あとは単純に人口構成とか、旧住民と新住民の構成のような資料があればと思います。

木更津市の全体を理解する意味で、そういった基本的なもので結構ですので、用意していただけると、いろいろ議論をしやすいかと思います。

○土居委員

市民の意見として、基本構想の15ページに公共施設再配置計画を作る上で市民会館はどういう位置付けにしましょうかということでアンケートを取ったものがあります。

市全体の公共施設のあり方の一つとして、市民会館はどうするか、どのくらい利用しているかというようなアンケートです。3,000人を対象に1,500人ぐらいが回答しております。

しかしながら、これは基本構想を策定するためのアンケートではありません。

また、18ページは、中規模ホールを検討する上で、文化団体にアンケートを取ったものです。

こちらを見ていただく時に、そういう背景であるということをご理解いただきたいと思います。

○倉田委員長

先ほどからお話が出ていますが、おそらく公共施設の再配置ということだと、公共施設総合管理計画みたいなものをお作りになっているのかと思いますが、そのような資料もあれば、合築、複合化などの話になった時の参考になります。

○土居委員

28年度に公共施設総合管理計画、公共施設再配置計画を作っております。

○伊藤次長

次回提供いたします。

○松井委員

委員の任期は約2年ということで、結構悠長に構えておりましたが、先ほどの市長のお話にもありましたように、3月上旬には答申を行うことになっており、今から1年足らずで基本計画づくりを行わなければなりません。

様々な展開を踏まえての検討が必要ですが、2回目に施設機能、施設構成について、3回目に施設

規模、候補地についてなど、大変なことをすごい速さでやっていくということになります。

検討方法については、シアターワークショップさんが委員会で検討したことをとりまとめ、次の委員会時に計画としてこうなりましたと報告するような形で進めていくと考えていいのでしょうか。

○伊藤次長

基本的に、この会議の支援をシアターワークショップにお願いしております。支援内容の詳細については今後協議等行ってまいります。

○松井委員

先ほど委員長や土居委員からご説明がありましたように、この基本構想の土台については、今後、いろいろ説明していただくということですが、基本理念はもう変わらなく、この基本理念に基づいて基本計画がつくられていくということと理解してよろしいですね。

私としては、委員の立場で考えて、まずその基本理念というものが、その上に築き上げる土台としてふさわしいものかどうかというような判断ができるぐらい理解をしなくてはいけないと考えていますが、今の計画では、次は施設機能について、また次は施設構成についてとなっており、基本理念からそこにつなげていくには、かなりの難しさがあると思います。

時間的に余裕がないのはやむを得ないのですが、検討は丁寧に進めていきたいと思っています。

○倉田委員長

これからのこの委員会の展開ですが、おそらく今日もいろいろと話が出ていますけれど、単純に新しい施設の中身、機能をどうするのかという話もありますが、例えば敷地の話、それから合築の話、複合化の話なんかも出てきます。それぞれにかなり違う背景がそこにはあると思いますので、それをどういうステップでいろんな視点から組み合わせて議論していけばいいかということが少し気になります。場所が決まり、単独で施設を作ることであれば、その中の機能を単純に議論していけば済むのかなと思います。

敷地や複合化が決まるのがどのタイミングになるのが課題ですが、その辺の見通しはいかがでしょうか。

○土居委員

まず今木更津市が抱えている問題は、市庁舎が現在、仮庁舎ということです。

3年半前に仮庁舎に引越しをして、10年の賃貸借契約を結んでいますので、あと6年半あります。

6年半のうちに市庁舎を建てるのかということを検討しなければなりません。

合わせて中規模のホールについても検討しなければなりません。

そこで、そのような施設の場所を、それぞれ単独で決めるのではなく、まちづくりとして総合的な形で決めていくことを、今、別の部門で検討しています。

現状では、中ホールがあるところに体育館も建っており、駐車場も共有しています。

また、旧庁舎の跡地は更地になっています。

さらに、仮庁舎は二つに分かれています。

先ほどからご意見いただいているとおおり、中ホールを利用したまま、大ホールを壊すのかという課題もあります。

そういった総合的な話を踏まえた上で、どこの場所で、どういう複合化した機能が必要なのかを、9月ぐらいにまでに決めて行こうと考えております。

10月の第3回委員会の開催時には、場所が決まった上での議論をしていただき、詳細な計画を積み上げていただければと思います。

本来であれば、場所も一緒にこの委員会の中で検討していただくのが、まちづくりという観点ではよかったです。別の部門でそちらは決めて、こちらでは中規模ホールを整備する上での中身の検討をしていただきたいと思います。

その際には、他の公共施設のことなどについての様々な資料をお持ちした上で、ご議論いただきたいと思います。

○倉田委員長

ありがとうございます。

そろそろ、終了予定の時間になっておりますが、まだ何かご質問があればどうぞ。

次回に向けてのリクエストでも結構です。

【委員より質問等なし】

それでは以上で本日の議題は、すべて終了いたしました。

議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

○事務局（司会）

倉田委員長ありがとうございました。

委員の皆様におかれましても、長時間のご審議ご質疑ありがとうございました。

最後に、その他として、今後のスケジュールをお伝えさせていただきます。

本年度スケジュールと書いた資料をご覧ください。

こちらの都合で大変勝手ではございますが、年間の会議日程等をあらかじめ設定させていただいております。

次回委員会が8月7日水曜日、3回目が10月9日水曜日、4回目が11月12日火曜日、5回目が11月28日木曜日、パブコメを挟みまして6回目が2月5日水曜日、7回目がパブコメ結果等の状況により開催しない可能性もあるのですが、一応2月26日水曜日に設定させていただいております。あくまでも現時点での予定でございますが、ご出席につきましてご配慮のほどよろしくお願いいたします。

なお、開催の都度、皆様に案内文書を送付させていただきます。

以上ですが、他に何かご質問ございますか。

○宮崎委員

各回の開始時間は何時ですか。

○事務局（司会）

各回の開始時間は全て14時からを予定しております。

他に何かございますか。

【発言者なし】

では、以上をもちまして、第1回木更津市民会館整備検討委員会を終了いたします。

本日はありがとうございました。

上記会議録を証するため下記署名する。

令和元年8月7日

木更津市市民会館整備検討委員会委員長 倉田 直道